



生物多様性国家戦略について ～ネイチャーポジティブの実現に向けて～



「ネイチャーポジティブ」イメージキャラクター
だいだらポジー
DAIDARAPOSIE

令和7年2月

環境省自然環境局自然環境計画課
生物多様性戦略推進室



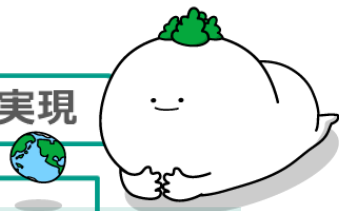
生物多様性国家戦略2023-2030の概要

「2050年自然共生社会」「2030年ネイチャーポジティブ」の実現に向け、5つの基本戦略、基本戦略ごとの状態目標（あるべき姿）・行動目標（なすべき行動）、関連施策を各行動目標に紐づけることで、**戦略全体を一気通貫**で整理するとともに、進捗状況を効果的に管理

第1部 戦略

2050年ビジョン『自然と共生する社会』

2030年に向けた目標：ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現



基本戦略

基本戦略1
生態系の健全性の回復

状態目標（3つ）
・生態系の規模と質の増加
・種レベルでの絶滅リスク低減
・遺伝的多様性の維持

行動目標（6つ）
・30by30
・自然再生
・汚染、外来種対策
・希少種保全
等

基本戦略2
自然を活用した社会課題の解決（NbS）

状態目標（3つ）
・生態系サービス向上
・気候変動とのシナジー・トレードオフ緩和
・鳥獣被害の緩和

行動目標（5つ）
・自然活用地域づくり
・再生可能エネルギー導入における配慮
・鳥獣との軋轢緩和
等

基本戦略3
ネイチャーポジティブ経済の実現

状態目標（3つ）
・ESG投融资推進
・事業活動による生物多様性への配慮
・持続可能な農林水産業の拡大

行動目標（4つ）
・企業による情報開示等の促進
・技術・サービス支援
・有機農業の推進
等

基本戦略4
生活・消費活動における生物多様性の価値の認識と行動

状態目標（3つ）
・価値観形成
・消費活動における配慮
・保全活動への参加

行動目標（5つ）
・環境教育の推進
・ふれあい機会の増加
・行動変容
・食品ロス半減
等

基本戦略5
生物多様性に係る取組を支える基盤整備と国際連携の推進

状態目標（3つ）
・データ活用・様々な主体の連携促進
・資金ギャップの改善
・途上国の能力構築等の推進

行動目標（5つ）
・基礎調査・モニタリング
・データ・ツールの提供
・計画策定支援
・国際協力
等

関連施策からビジョンまで一気通貫で整理

状態目標

行動目標

関連施策

第2部 行動計画

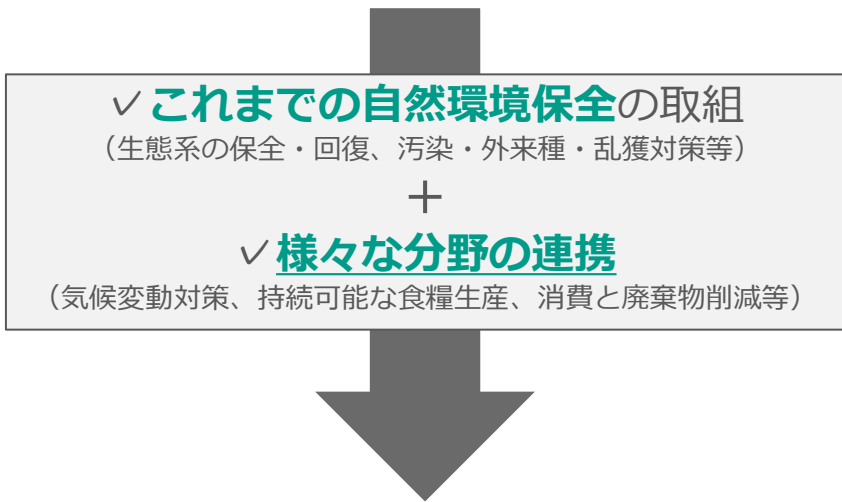
5つの基本戦略の下に25ある**行動目標ごと**に、関係府省庁の**関連する施策**を掲載

社会変革の必要性

地球の持続可能性の実現に向けては、 横断的な「**社会変革 (transformative change)**」が必要

出典：IPBES 地球規模評価報告書（2019）

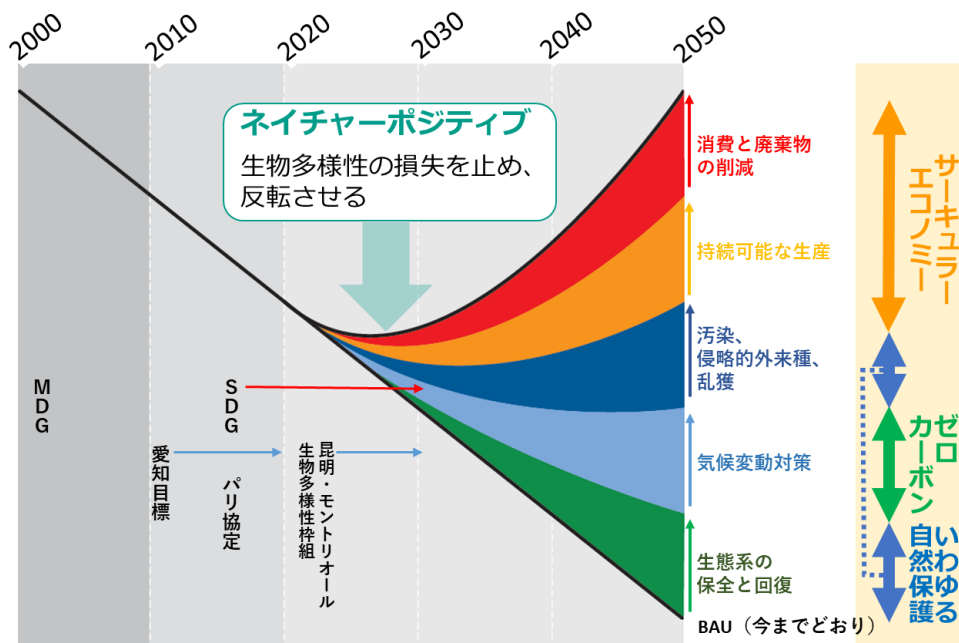
- 「今までどおり」のシナリオでは、
生物多様性は損失し続ける



- 2030年以降には**生物多様性の純増加**
につながる可能性がある

= **ネイチャーポジティブ**

(→自然保護だけを行うものではなく、
**社会・経済全体を生物多様性保全に
貢献するよう変革させていく考え方**)



生物多様性の損失を減らし、回復させる行動の内訳
出典「地球規模生物多様性概況第5版 (GBO5)」を基に作成



各基本戦略のイメージ

例えば・・・

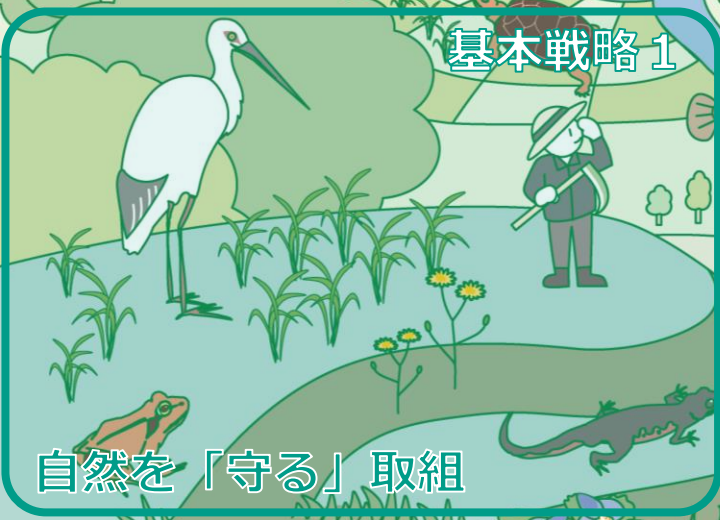
基本戦略2
自然を「活かす」取組



基本戦略5
データ蓄積



基本戦略1
自然を「守る」取組



基本戦略3
ネイチャーホジ
タイプな経済



基本戦略4
一人一人の行動変容

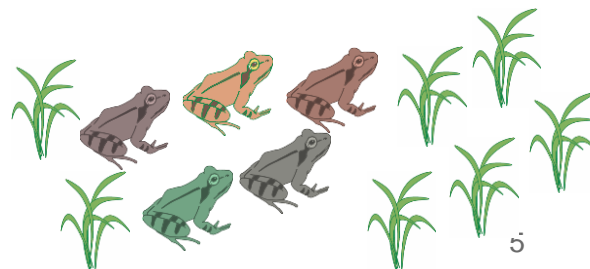
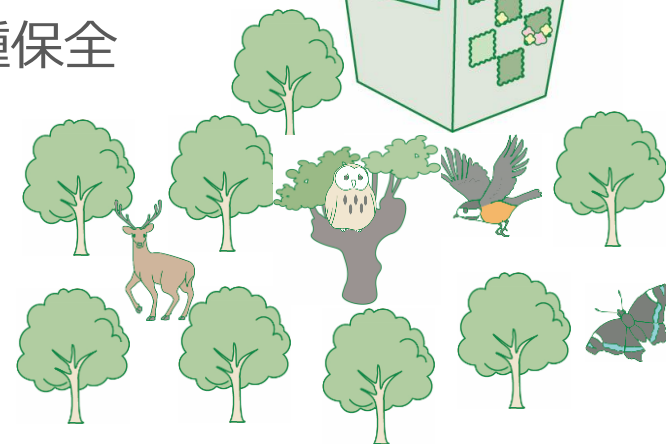
MARKET Sustainable Food



- 生態系の規模と質の向上
→ **30by30目標**の達成、劣化生態系の再生

- 種レベルの絶滅リスクの低減
→ 汚染の削減、侵略的外来種対策
気候変動による影響の最小化、希少種保全

- 遺伝的多様性の維持



30by30目標とは

サーティー バイ サーティー

30 by 30

- 2030年までに陸と海の**30%以上**を保全する
新たな**世界目標**



30by30が**重要**と指摘する国内外の**研究報告**

健全な生態系の**回復**、**豊かな恵み**を取り戻す

- 世界の陸生哺乳類種の多くを守るために、既存の保護地域を総面積の**33.8%**まで**拡大**が必要
- 日本の保護地域を**30%**まで効果的に**拡大**すると生物の絶滅リスクが**3割減少**する見込み

様々な効果

など

- 気候変動：緩和、適応に貢献
- 災害に強く恵み豊かな自然：
国土の**安全保障の基盤**
- 花粉媒介者：国内で年**3300億円**の**実り**
- 森林の栄養：**河川を通して**海の生産性を向上
- 観光や交流人口の増加などの**地域づくり**

30by30目標の達成に向けたOECMの設定等の推進

- **30by30目標**の達成にあたっては、法律等に基づく国立公園等の保護地域に加えて、**保護地域以外で生物多様性保全に資する地域（OECM※）**の設定が重要。

※OECM : Other Effective area-based Conservation Measures

- OECM設定の推進のため、**民間の所有地等を「自然共生サイト」として認定**。

《保護地域 + OECMによる生態系連結》



保護地域以外にも、里地里山、水源の森、都市の自然など、様々な場所が生物多様性の保全に貢献



民間等の取組区域を環境省が認定しOECMの設定等の推進を通じて、30by30目標の達成につなげる

30by30を進めるための有志連合



30by30

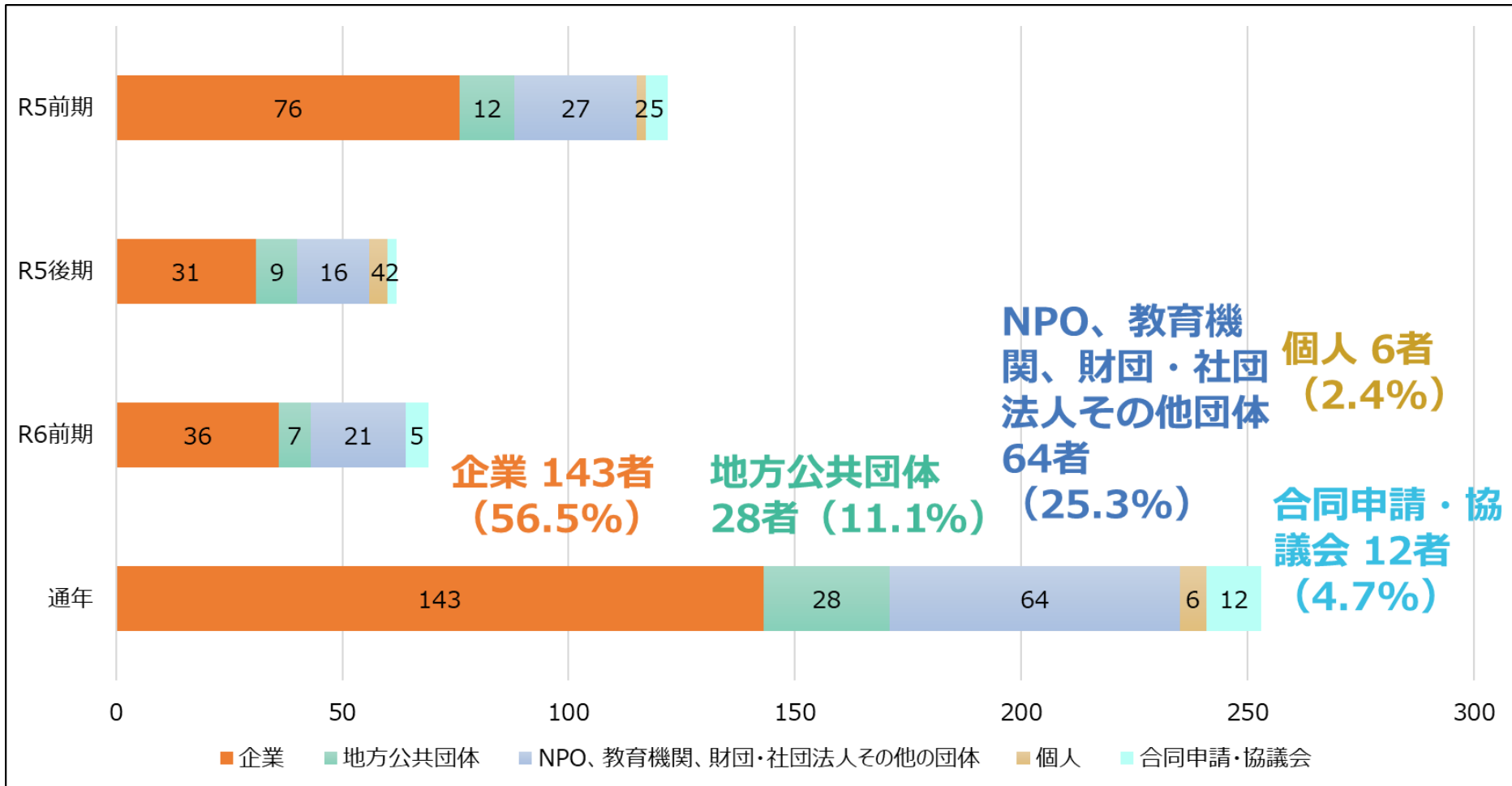
30by30アライアンスロゴ

企業、自治体、NPO法人等、計929者が参加

(2025年1月22日現在)

- 法律に基づかない環境省による任意制度で、令和5年度から運用開始、2024年10月末時点で253箇所（R6年度：69か所、R5年度：184か所）認定。
- 「地域生物多様性増進法」が令和7年4月1日に施行予定。自然共生サイト相当の生物多様性が豊かな場所を維持する活動に加え、管理放棄地等において生物多様性を回復・創出する活動も認定の対象に。
- あわせて、より多くの民間資金や人的資源を流入できるように、自然共生サイトを支援した企業等に「支援証明書」を発行する制度（TNFD等への活用を見据えての設計）や、支援を受けたいサイトと支援を行いたい企業等のマッチングを促進する仕組み、専門的助言を受けたい活動者と有識者を仲介する仕組み等を検討。

自然共生サイトの申請主体・申請数



地域生物多様性増進法の概要

(2024年4月12日成立、地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律)

ネイチャーポジティブ（自然再興）の実現に向け、**企業等による地域における生物多様性の増進のための活動を促進するため、主務大臣による当該活動に係る計画の認定制度を創設**

(1) 増進活動実施計画等の認定制度の創設

- ① **企業等**が、里地里山の保全、外来生物の防除、希少種の保護といった生物多様性の維持・回復・創出に資する「**増進活動実施計画**」を作成し、**主務大臣が認定**（企業等は情報開示等に活用）。
- ② **市町村**がとりまとめ役として地域の多様な主体と連携して行う活動を「**連携増進活動実施計画**」として主務大臣が認定。
 - ①又は②の認定を受けた者は、その活動内容に応じて、自然公園法・自然環境保全法・種の保存法・鳥獣保護管理法・外来生物法・森林法
・都市緑地法における**手続のワンストップ化・簡素化といった特例**を受けることができる。

(2) 生物多様性維持協定

- ②の認定を受けた市町村は、活動者及び土地所有者等と「**生物多様性維持協定**」を締結することができ、**長期的・安定的に活動が実施**できる。

(3) 地域生物多様性増進活動支援センター

- 地方公共団体は、「**地域生物多様性増進活動支援センター**」として、関係者間における連携及び協力のあっせん、有識者の紹介、必要な情報の収集・整理・分析、助言を行う拠点としての機能を担う体制を、**単独又は共同して確保**するよう努める。

NbS (Nature based Solutions) とは？

- 簡単に言えば・・・
自然が有する機能を持続可能に利用し、多様な社会課題の解決につなげる考え方
(気候変動、生物多様性、防災、食料問題、人間の健康等)
- UNEA決議で以下のとおり定義されている

NbSの定義 (UNEA5.2決議 (2022年3月))

社会、経済、環境課題に効果的かつ順応的に対処し、同時に人間の福利、生態系サービス、強靱性、生物多様性への恩恵をもたらす、自然または改変された陸上、淡水、沿岸、海洋生態系の保護、保全、回復、持続可能な利用、管理のための行動

出典) UNEA5.2(2022). Nature-based solutions for supporting sustainable development(UNEP/EA.5/Res.5).



NbSの定義の概念図 (IUCN2020)

NbSが注目される理由

- 自然保護・保全の**意義を拡張**する概念
- 複数の社会課題に対して**同時に貢献**できる
- 限られたリソース（資金や時間や人材等）を**効率的に活用**できる

湿地による防災・減災への貢献の例

- 湿地には大雨時に水をいったん貯留し、下流にゆっくりと流す**洪水調整機能**がある
- 人工的なインフラに対し、生態系を活用したインフラを**グリーンインフラ**と呼ぶ

生態系を活用した防災・減災 = ECO-DRR

※日本は災害リスクが高く、自然災害への対応が重要な課題であり、Eco-DRRはNbSの中でも注目すべき考え方。

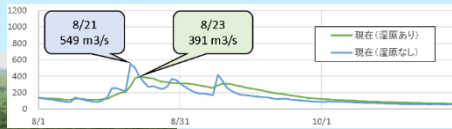
渡良瀬遊水地

▶ 令和元年台風時に、東日本各地で多数の洪水が発生する中、渡良瀬遊水地を含む4つの調節池では、過去最大となる**合計約2.5億 m^3** （東京ドーム約200杯）の洪水を貯留し、首都圏の洪水被害防止に貢献

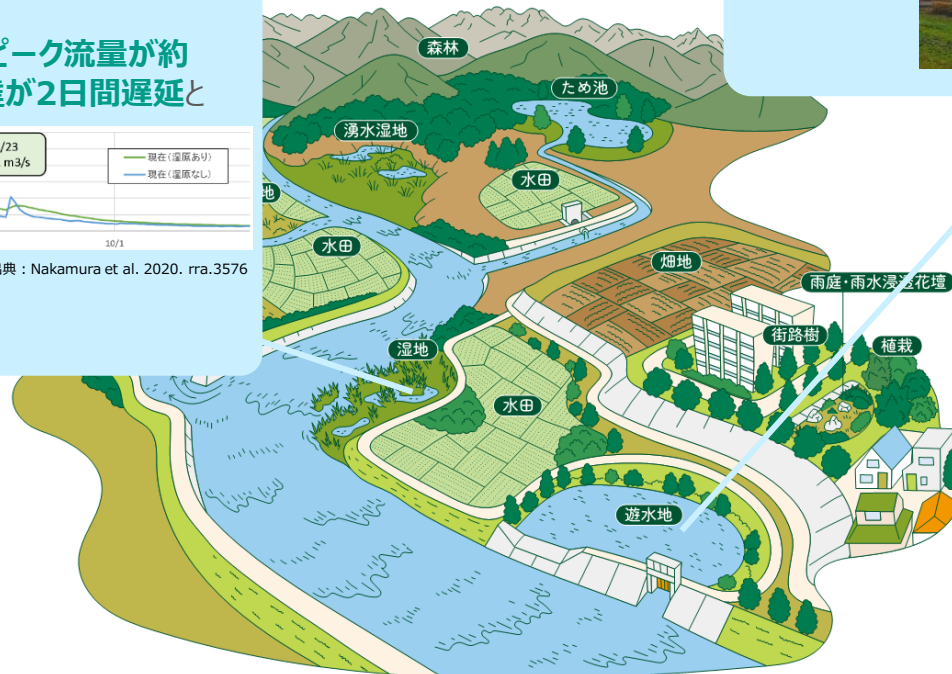


釧路湿原

▶ 釧路湿原の保水機能により**ピーク流量が約30%低下**、**ピーク流量到達が2日間遅延**と評価



出典：Nakamura et al. 2020. rra.3576



- 生物多様性国家戦略2023-2030を踏まえ、2024年3月に「**ネイチャーポジティブ経済移行戦略**」を策定
- 経済活動の自然資本への依存と損失が**社会経済の持続可能性に対する明確なリスク**であり**ネイチャーポジティブ経済への移行が必要**
- ネイチャーポジティブの取組が、企業にとって**単なるコストアップではなく、新たな成長につながるチャンス**であることを分かりやすく示し、実践を促す

① 企業の価値向上プロセスとビジネス機会の具体例

→TNFD等の情報開示を通じた企業の価値向上 等

② ネイチャーポジティブ経営への移行に当たり企業が抑えるべき要素

→足下の負荷低減、一歩ずつの取組も奨励、損失のスピードダウンも評価、消費者ニーズの創出、地域価値の向上

③ 国の施策によるバックアップ

→価値創造プロセスの各ステップを関係省庁連携で支援

ネイチャーポジティブ経済移行戦略
～自然資本に立脚した企業価値の創造～

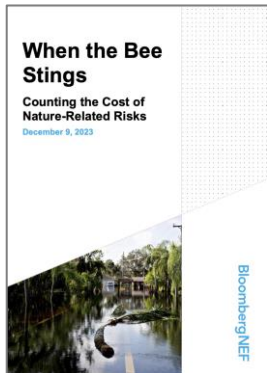
令和6年3月

環境省
農林水産省
経済産業省
国土交通省

ネイチャーポジティブ経済移行戦略～自然資本に立脚した企業価値の創造～



令和6年3月 環境省、農林水産省、経済産業省、国土交通省



ネイチャーポジティブ経済への移行の必要性 ～社会経済途絶リスクからの脱却～

経済活動の自然資本への依存とその損失は、**社会経済の持続可能性上の明確なリスク**

例) 不適切な水資源利用や化学物質の放出等の結果、株価の下落等の財務的損失を被った事例
出所: When the Bee Stings (BloombergNEF2023)

社会経済活動を持続可能とするため、**ネイチャーポジティブ経営への移行が必要**

= 自然資本の保全の概念をマテリアリティとして位置づけた経営

本戦略の狙い ～単なるコストアップではなくオポチュニティでもあることを示す～

① 企業の価値創造プロセスとビジネス機会の具体例

- TNFD等の情報開示を通じた企業価値向上

脱炭素や資源循環、自然資本の活用等、様々な切り口から機会創出。

- ビジネス機会の具体例と市場規模 (環境省推計)

(ビジネス機会の具体例) 10ほどの事例を、できる限り提供的な市場規模とともに掲載

② ネイチャーポジティブ経営への移行に当たって企業が押えるべき要素

まずは足元の負荷の低減を

自然資本への負荷の回避・低減を検討した上で、自然資本にポジティブな影響を与える取組を検討 (ミティゲーション・ヒエラルキー)

総合的な負荷削減に向けた一歩ずつの取組も奨励

総合的な把握・削減を目指す。同時に自然資本との関係を踏まえつつ、事業の一部分から着手することも奨励

損失のスピードダウンの取組にも価値

負荷の最小化と貢献の最大化を同時に図ることで、自然資本の回復力も含めたネイチャーポジティブを実現

消費者ニーズの創出・充足

消費者ニーズを適切に把握するとともに創出し、ネイチャーポジティブに資する製品・サービスを市場に提供

地域価値の向上にも貢献

ネイチャーポジティブ経営が地域の生物多様性保全と地域課題の解決に寄与

③ 国の施策によるバックアップ

- ネイチャーポジティブ経営への移行に伴う企業の価値創造プロセスと対応する国の施策

- 価値創造プロセスの各ステップを関係省庁で支援

- **NbS (Nature based Solutions)** や**民間企業との連携**について強調
- **推進体制**や**点検評価**に係る記載を充実
- “**生き物保全計画**”から**脱却**し、**魅力的で持続可能な地域づくり**へつながる必要性を強調
- 支援ツールとなる「**ひな形**」及び「**指標カタログ**」の作成

手引き

地域戦略の意義・役割や標準的な策定手順を解説

[手引き公開先はこちら](#)



策定支援ツール

ひながた

地域戦略の策定に活用できるWordテンプレート

目標・指標カタログ

国家戦略の目標・指標を参考として検討した、都道府県、市区町村にお勧めしたい目標・指標

<主な内容>

- なぜ策定するのか、方針や構成など
- 生物多様性に係る**国内外の動向**、**地域戦略の位置付け**・**目指す方向性**・**期待される効果** など
- **他の計画との統合的な策定**パターン
- 生物多様性地域戦略の策定手順（課題整理、**目標や評価指標の設定**など）

企業からの投資の誘引にも活用可能

- 人口減少などによって地域活力が少しずつ低下してきている地域もある中、地域が持続的な取組を進めるためには民間企業や外部の力も不可欠です。
- 一方で、企業もネイチャーポジティブ領域における事業機会を積極的に探索しています。企業は価値創造の器であり、共に価値を創造できるパートナーを常に探しています。
- このため、生物多様性、自然資本を社会関係資本と併せて地域経営を行う明確な意思を持つ地域は、企業のコラボレーション相手として非常に魅力的です。
- 同じ投資額でより多くの価値創造、社会的使命を果たすことができる地域は、企業価値を高める場になります。地域戦略は、地域と企業をマッチングさせるための道具として活用できます。

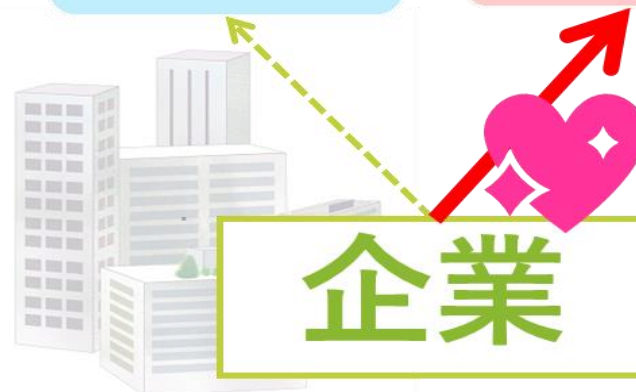


地域A

地域の意思が明示されていない

地域B

自然資本を活用し価値創造していく
意思表示



R5年度、R6年度技術的支援について

● R5年度

計 13 自治体へ技術的支援

<東北>

- ・宮城県大崎市
- ・福島県鮫川村

<関東>

- ・栃木県那須塩原市
(R6.5に地域戦略策定)
- ・埼玉県川越市
- ・東京都東大和市

<中部・北信越>

- ・新潟県糸魚川市
- ・愛知県豊田市 (改定)

<近畿>

- ・奈良県 (改定)
- ・兵庫県丹波市

<中国四国>

- ・岡山県赤磐市
- ・高知県土佐町

<九州>

- ・大分県豊後大野市 (改定)
- ・鹿児島県奄美5市町村 (改定)

<技術的支援の内容>

- ・課題や資源の見える化
- ・自然資本を活用したストーリー作り
- ・NbSの活用方策の検討
- ・関連する他の計画との連携方策の検討
- ・ロジックモデルを活用した目標設定や評価の仕組みの構築
- ・関係者の合意形成
- ・専門家派遣など

「手引きの概要版」として、手引きに記載しているプロセスに沿った形で、技術的支援の実例を取りまとめました

● R6年度

計 6 自治体へ技術的支援中

<東北>

- ・宮城県大崎市 ※昨年度から継続

<関東>

- ・埼玉県さいたま市 ※公募選定
- ・埼玉県川越市 ※昨年度から継続
- ・千葉県市川市 ※公募選定
- ・神奈川県横須賀市 ※公募選定

<近畿>

- ・滋賀県甲賀市 ※公募選定

公募選定したいずれの自治体も「自然共生サイト等を通じた民間企業との連携」がテーマ

公募により特定のテーマに該当する内容を地域戦略に含む予定の地方公共団体 **4自治体**を選定

⇒いずれの自治体も「自然共生サイト等を通じた民間企業との連携」で申請。

公募テーマ

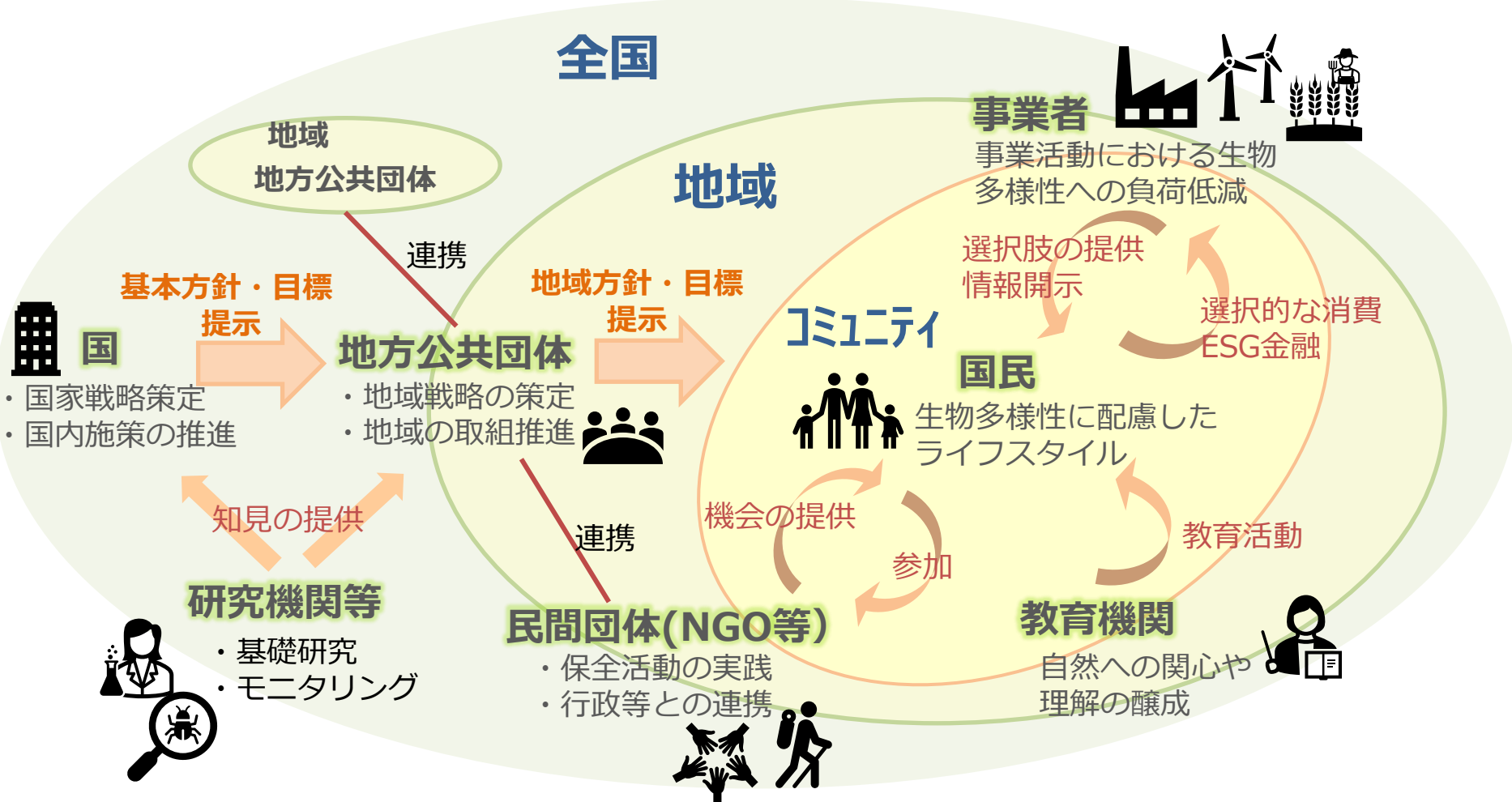
- 自然共生サイト等を通じた民間企業との連携
- グリーンインフラや生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）を含むNbSの考え方の活用（地域気候変動適応計画・地方公共団体実行計画との統合策定によるネイチャーポジティブとカーボンニュートラルの統合的推進を含む）
- 総合計画・地方版総合戦略との統合策定による地域振興や地域課題の同時解決

↓

具体の技術的支援内容は、採択後協議にて決定

次年度も技術的支援を実施予定

各主体の役割



生物多様性の保全は国だけで取り組めるものではなく、
様々な主体の取組と連携が不可欠

生物多様性国家戦略：まとめ

- 生物多様性国家戦略2023-2030は、**昆明・モンリオール生物多様性枠組**に対応して策定された戦略。
- **目標設定や構造は大きく変更し、進捗状況をより示せるようにした。**
- 中身で重要な点

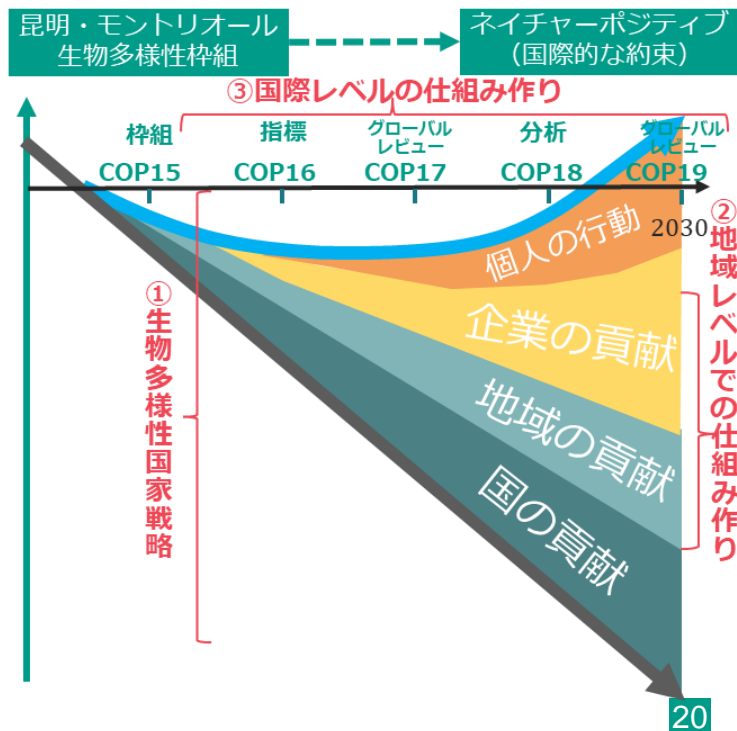
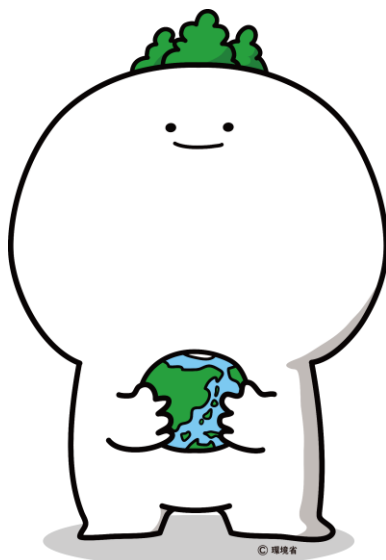
① **土地利用に関連付け、持続可能な地域を増やす**

② **自然を守ることと併せ“積極的に”社会課題解決の貢献**

③ **事業継続性のため、事業活動に生物多様性を組み込む**

④ **理解を醸成し、日々の生活の中での取組を増やす**

⑤ **データの充実、オープンデータ化で連携**



ご清聴ありがとうございました

